

# 家庭クラブ減災新聞11月号 H30.11.20



今月号では、先月号に続き、課題解決型学習であるホームプロジェクトの宿題において、「E 住居部門」のうち、防災・減災をテーマに取り上げて研究したレポートを紹介しします。最近、日本各地で、様々な自然災害が起こっています。皆さんは、突然起こる自然災害に、十分な対策ができていますか。もし災害が起こったときに、冷静に判断し、行動することができるようにするために、日頃から、役に立つ知恵をしっかりと調べておきましょう。また、被災地で、実際に発生した様々な困難な状況を調べたり、被災者の声を聞いたりすることも大事なことです。4人の力作レポートを紹介しします。

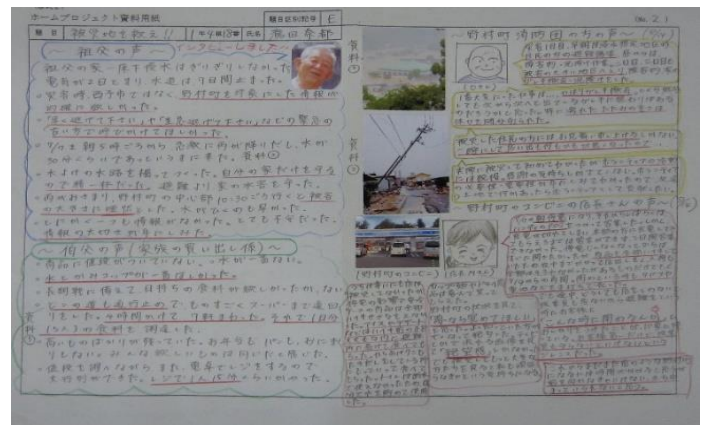
1年6組 塩崎 宏樹さん

題目「備えあれば憂いなし～自然災害に備えて」



1年4組 瀧田 奈都さん

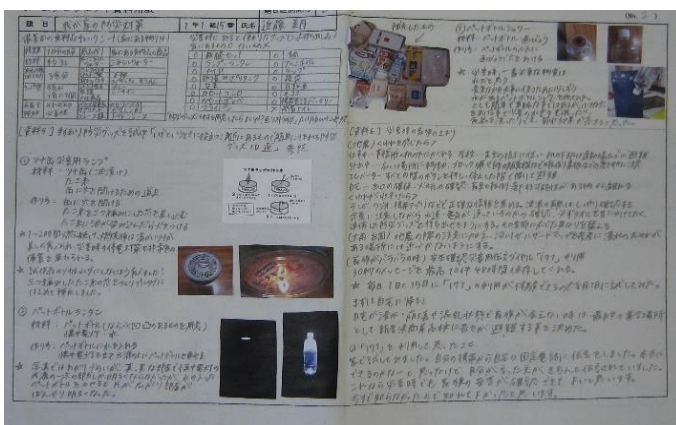
題目「被災地を救え！！」



今回このホームプロジェクトをきっかけに、防災について深く調べることができた。また、家族全員の防災に対する意識が高まり、良かった。自分の住んでいる地域を実際に注意して歩くことで、避難経路の中で、特に危ない場所を発見することができた。

1年1組 近藤 美月さん

題目「我が家の防災対策」



最近、災害が立て続けに発生しているので、災害が起こった時にどう対処するか考えた。父親が被災地にボランティアに行ったことにより、特に災害対策について身近に感じるようになり、災害時に不便になりがちな電気についても見直すことができた。

祖父母が住んでいる野村町で、大水害が起こったため、ボランティアに行った。実際に生で見ることで、大変さが身にしみた。コンビニの店長さんへのインタビューを行い、精神的に余裕のない状況下の中で対応が難しかったことも分かり、深く考えさせられた。

1年4組 河村 春花さん

題目「備えあれば憂いなしプロジェクト～自助対策から共助に向けて～」



家中の大型家電、家具が地震で倒れないか、徹底的に見直した。本棚や食器棚については、位置エネルギーにも着目し科学的にも分析した。家の安全に関しては、地震だけではなく、日頃の大雨や台風の時にも問題になる。市役所への聞き取りも行った。

ホームプロジェクトの発表会を通して、各家庭の新たな知恵を吸収することができました。家庭クラブでは、問題点を発見し解決すること続け、普段から人に手をさしのべられる「共助」ができる人材になれるように日々活動しています。

11月号担当  
1年2組 近藤 有晟  
1年2組 松本 奈乃波

